

舞鶴発祥のブランド野菜 今年も全国へ出荷

万願寺甘とうのシーズン始まる

舞鶴発祥の京の伝統野菜「万願寺甘とう」の出荷が始まりました。5月20日には下福井のJA京都にのくに万願寺甘とう舞鶴検品場で出荷式があり、会場では生産者や農業関係者ら約40人が出荷を祝いました。今年の出荷量は600ト、販売額4億円を目標としています。

昨年は、豪雨災害などの影響で出荷量は2年前の約600トに対し4分の3程度の約440トにとどまりましたが、販売額は過去最高の約3億7,400万円を達成しました。

今年の初出荷は約1,272トで市内のほか京阪神、首都圏にも出荷されました。



▲大きさと形ごとに「秀・優・良」の規格で選別



▲高い品質や地域性が国に認められたGI表示

厳選された一芯二葉

再び日本一へ お茶の初摘み



▲黒いシートで被うことで独特の香りと味を出す

本市の特産品舞鶴産のお茶の初摘みが5月5日、加佐地区の志高で行われ、舞鶴茶生産組合の組合員など約140人が参加しました。

初摘みで摘み取る「かぶせ茶」は、収穫の10日ほど前から黒いシートで覆い、日光を遮り育てることで、渋みが少なく独特のうま味と覆い香という特徴的な香りがある茶種。舞鶴市のかぶせ茶は、全国茶品評会で5年連続日本一に輝いています。一

消防団長を任命



▲新任団長に辞令を手渡す

消防団長任命式を5月2日、市役所で実施。本年度、新たに新任消防団長に任命された3人に多々見市長が辞令を手渡ししました。任命された消防団長の皆さんは、地域住民の生命と財産を災害から守る地域防災の要として団員と共に活動されます。《消防本部》

自分の命 家族の命を守る備えを万全に

5段階の警戒レベルで防災情報を発信

大雨や台風などの際の防災情報を1〜5の5段階の警戒レベルに分けてお知らせすることにしました。

平成30年7月豪雨を受けて、国の中央防災会議が検討し「避難勧告等に関するガイドライン」を見直したもので『自らの命は自らを守る』ために、災害の危険度や皆さんのとるべき避難行動をより分かりやすく明確化。それぞれのレベルでとるべき行動は次のとおり。

- ◆警戒レベル1…テレビやラジオ、インターネットなどの気象情報をチェックする
- ◆警戒レベル2…避難先の場所や経路、家族の様子・居場所を確認する
- ◆警戒レベル3…避難に時間のかかる高齢者などは避難、そのほかの人もいつでも避難できる準備をする
- ◆警戒レベル4…全員避難。避難所やより安全な近隣へ避難。困難であれば建物内でもより安全な場所へ避難を。
- ◆警戒レベル5…河川の氾濫

や土砂崩れなど災害が発生。命を守る最善の行動を。

※1・2は気象庁が、3〜5は市が発表

警戒レベルがどこまで上がるのか、避難までどのくらい時間的余裕があるかはその時々で異なります。避難情報を聞いたらいつでも避難を開始できるよう備えてください。詳しくは、内閣府ホームページでも公開。下のコードからアクセス可。

◆情報発信・収集手段



- ◆防災行政無線(テレホンサービス) (☎62・7400)で放送内容が確認できます
- ◆まいづるメール配信サービス
- ◆緊急速報メール
- ◆テレビのデータ放送
- ◆FMまごころ
- ◆市公式フェイスブック
- ◆ホームページ(気象庁、川の防災情報、京都府の土砂災害警戒情報、河川防災情報、市ホームページなど)

▼詳しくは、危機管理・防災課 (☎99-1000)へ。

女性編

地域を守る 力になる

消防団の気になるトコロ

市では、地域防災の要である消防団員を随時募集しています。そこで「何をやるの?仕事や家庭と両立できるの?」など団活動の気になる点についてお答えします。今回は女性消防団員に焦点を当てて紹介。「意外と私にもできそうかも!」と思ったら気軽に消防本部か地域の消防団員さんに相談してみてください。《消防本部》

消防団の活動って?

活動は、月に1回程度、消火や水防の訓練があるほか、火災予防運動などに合わせた防火活動や住宅用火災警報器の設置などの啓発活動です。火災時や災害時には消防署と協力し、消火活動や避難誘導などにあたります。

気になるQ&A

◆力仕事は無理なのですが 団の活動には、住宅用火災警報器の普及や高齢者宅への防火訪問、広報活動などもあります。

◆子育てや仕事と両立できますか 日々の活動は団員同士で協力し合って行うので、家庭を優先しながら出られるタイミングで活動してもらっています。

女性団員に聞いてみた ~水元さんの場合~

朝来消防団で活動している水元恵子さんの場合、消防団員になったきっかけは団の広報紙づくりをお願いされたことから。

現在は2か月に1回発行する広報紙づくりのための取材や撮影をはじめとした広報支援が主な役割。地域で頑張る消防団員の姿を少しでも多くの人に知ってもらえるよう、大人から子どもまで楽しく見られる広報紙づくりを心掛けているとのこと。読者へのメッセージは「地域に貢献できるやりがいのある活動なので、もっと仲間が増えて女性消防団員の活動の幅が広がればいいなと思っています」。気になった人は気軽にお問い合わせください。



▲団員の活動を記録するのも大切な仕事

あなたの力を 地域を守る消防団に!

消防団員は男女問わず随時募集しています。地域ごとに20個団に分かれて市内全域で活動しています。

【対象】市内に居住する18歳以上の人
【問い合わせ先】消防本部(☎66・0119)、東消防署(☎65・0119)、西消防署(☎77・0119)か、市ホームページの『消防本部お問い合わせフォーム』で(右のコードからアクセス可)。

